

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスmini		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	ご利用初めの段階で、医療的ケア・リハビリ・療育の目線でそれぞれの有資格者が丁寧にヒアリングをさせていただいております。それぞれの目線を活かしつつ、さらに現場スタッフにもフィードバックをしてもらい、ご家族とも共同して支援計画を立案しております。	れんらくちょうアプリを利用して個別支援計画を作成し始めた1年となりました。5領域の視点を意識しながら、引き続きお子さんとご家族に寄り添った計画の立案ができるようにしていきます。お子さんへの説明も丁寧にこなしてまいります。また、幹部層だけでなく職員全体で支援内容を共有できるようにしているので、その周知ができるようにしていきたいです。
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の支援に関しては詳細に記録をするよう努めています。また、その記録をもとに職員会議を毎日行い、支援の検証や改善、ご家族への共有に漏れがないように確認をしております。	れんらくちょうアプリを利用して、日々の様子をデータだけでなく写真でわかりやすくお伝えすることができていると考えています。入力の漏れがあり、ご指摘をうけることがありますので、引き続き確認の体制を強化していきたいです。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	地域へのイベントは積極的にこなされており、重症児や医療的ケア児に対する理解を深めていただきつつ、事業所としても地域に貢献できるような事業運営を心がけています。	広報活動を進め、より多くの地域住民の方に事業所について知っていただくことで、引き続き開かれた事業運営に努めていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者の立場である西区の災害ボランティアのにしほらさんの協力のもとサーベイランス巡視をスタートし始めましたが、まだ始まったばかりでやり方等を模索中です。	サーベイランスの方法を理解し、身に付けていくことで業務改善につながっていくと考えております。
2	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	担当者会議の内容等は幹部職員クラスでの会議以外にも、日常関わるスタッフと朝の申し送り時に情報共有するようにしています。日替わりでスタッフも変わるので全員に共有することが難しいです。	現場のスタッフで使用する報告書にも内容を記載するようにしていますが、それを注視するという行動にいたらない時間がありますので、声かけの徹底に努めます。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	地域の行事等には参加できていますが、子ども同士の活動の機会を設けるには至っていないため、工夫が必要だと考えます。	外を散歩する子どもたちに声をかけるようなことはできました。イベントや近隣の園との交流等を通して、安全に留意しつつ、障がいのない子ども同士の交流の機会を設けていけるようにしていきたいです。